

## 令和2年 萩市議会12月定例会

### 一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	3	瀧 口 治 昭	12月7日午前
2	5	村 谷 幸 治	
3	2	小 林 富	午後
4	8	佐々木 公 恵	
5	13	西 中 忍	
6	10	美 原 喜 大	12月8日午前
7	1	浅 井 朗 太	
8	9	松 浦 俊 生	午後
9	6	五十嵐 仁 美	
10	12	関 伸 久	
11	4	松 浦 誠	12月9日午前
12	18	宮 内 欣 二	

質問順位	1	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. トビイロウンカによる市内農家への被害とその対応、対策について	<p>1. 本年は国内も、国外もワクチンの無い新型コロナウイルス感染症の発生、感染による多難の年となり、人命はもとより社会生活、経済、産業にも大きな影響を与えています。今なお、感染の脅威は収まらず国、県、市町村それぞれがその対策に、予算と労力と時間を費やすことを余儀なくされているのが現状です。こうした異常とも言える中ではその他の被害、災害に対する関心がついつい薄れてしまいがちですが、農業への被害に対してはどうでしょうか。</p> <p>近年、異常気象について取り上げられていますが、本年は山口県の稲作農家においては7月の低温、8月の高温、9月の台風による塩害に加え、県西部を中心に中国大陸より飛来したトビイロウンカによる被害が多発し、大変厳しい年となりました。新聞等にも報道されていましたが、山口県の米の作況指数は73で全国最下位となりました。当萩市においては萩市全域での被害ではなく、地域差があり、特に佐々並地区の被害が大きかったとのこと。何れにしても県下のこうした被害状況の中で、山口県農業協同組合より山口県、各市町に対して「トビイロウンカ被害に係る要望書」が出され、県においては生産者への支援として来年度の稲作の種子購入に県が半額を補助する補正予算案が提出されており、萩市を含めて北浦3市と言われる長門市、美祢市の2市においては、稲作農家に対してそれぞれ支援として補正予算案が提案されているようですが、当萩市においては今回の被害に対して現地調査等により、実態の把握をされたのか、その後どのような検討がなされ、今回の補正予算案の中に提案をされたのか、お聞きします。また、こうした被害は、本年だけに止まらず来年度も起こり得ますが、来年度への予防対策は検討されるのかお聞きします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
2. 新年度の事業に関して	<p>1. 本年度も3分の2が終わり、来年度の予算編成作業が始まっていることと思いますが、来年度の事業の方針について2点お聞きします。まだこの時期ですので不確定な状態であるとは思いますが回答をいただければと思います。</p> <p>1点目は、今回の補正予算案にもあります、住宅リフォームへの補助事業についてです。この事業は3カ年の期間限定の事業と聞いていますが、本年が最終年度となっています。しかし、この事業はリフォーム事業への経済効果が大変出ている補助事業であり、利用者、受注業者からも好評で、事業延長の要望の声もありますが、来年度、事業延長の考えがあるのかお聞きします。</p> <p>次に、2点目は、少子化対策としての内閣府による事業についてです。この事業は少子化対策の一環として、新婚世帯の家賃や敷金、礼金、引越し代など新生活にかかる費用について来年度から60万円を上限に補助するというものです。現在での国内の自治体では、この事業の取り組み率は281市町村で全体の15%程度にとどまっているようで、山口県内では長門市、美祢市、平生町が実施しており、萩市は当初実施していましたが、現在止めています。当時は国と、市町村が半分ずつの負担でであったものが、来年度よりは国が3分の2の負担と変更もするようです。少子化対策として改めて検討されないものか、お聞きします。</p>

質問順位	2	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市内河川における浸水想定区域の設定について	<p>1. 県の追加指定河川の萩市HPへの掲載はいつになりますか。</p> <p>2. 追加指定河川に関する住民への説明は。</p> <p>3. 今後の指定河川について</p> <p>4. 市管理河川における浸水想定区域設定の必要性について</p>		
2. 行政手続きに係る「ハンコレス化」について	<p>1. 押印が不要となる見直すべき申請書などの書類がどのくらいありますか。</p> <p>2. 今後、書類の「ハンコレス化」についてどのような対応を考えていますか。</p>		

質問順位	3	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. サイクルおよびツーリングの普及と観光客等2次交通への活用について	<p>1. 山口県はサイクル県やまぐちプロジェクトとして取り組むなど観光だけでなく気軽に出来るスポーツとしても普及に取り組む中、萩市内でのサイクルおよびツーリングの取り組み状況と今後に向けた各団体等との連携、協議会等によるイベント実施などについてお聞きします。</p>		
2. 林業6次産業化推進事業の取り組み状況および今後の展望について	<p>1. 平成30年9月定例会から予算化され、これまで合計5,000万円の予算が投じられてきた林業6次産業化推進事業は、林業の担い手確保・育成や事業規模の拡大、流通ネットワーク構築を目指してきました。事業者の期待も大きく、地場産業の振興は林業も含めて幅広く取り組む必要があると考えています。</p> <p>一方、これまで予算規模に見合う成果や委託先（tobimushi(トビムシ)）と地元関係者との協力体制、さらに次年度以降に設立を検討する地域商社の役割や主体などの組織体制等には検討事項および課題事項が多いと考えており、これまでの実績および今後の展望についてお聞きします。</p>		
3. 市役所の組織運営および職場環境について	<p>1. これまでの萩市定員適正化計画や人件費についてなど一般質問をしてきました。その中で部署数の増加は適切なのか、という意見を申し上げました。</p> <p>例えば、第三次定員適正化計画も策定されたことから組織の集約やICT活用によってむしろ情報共有等を図るべきだと考えています。</p> <p>答弁の中では、1つの部でやるよりも細かく分けなければきめ細やかな政策は出来ない、また、管理スパンを適正にするための組織再編、との回答でしたが、現状についてお聞きします。</p>		

質問順位	4	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行時の相談・検査体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 本市における今年の季節性インフルエンザ感染状況について</li> <li>2. インフルエンザ予防接種の接種状況について</li> <li>3. ワクチンの供給不足が懸念されるがその対策について</li> <li>4. 同時流行時、かかりつけ医などの相談・診療について</li> <li>5. 本市においてPCR検査が可能な医療機関の増設について</li> </ul>		
2. 子宮頸がん予防施策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 子宮頸がん及び子宮頸がん予防ワクチンの認識と現状について</li> <li>2. 子宮頸がん予防ワクチン接種に関する本市の考えについて</li> <li>3. 子宮頸がん検診について</li> <li>4. 学校現場における子宮頸がんに関するがん教育について</li> </ul>		
3. 救急医療体制のさらなる充実について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の救急医療体制について</li> <li>2. 市民が急病となった場合の対応について</li> <li>3. 救急医療機関の設置基準と現在の設置状況について</li> <li>4. 行政・消防・医師会の連携について</li> <li>5. 現在の救急医療体制課題への取り組みは</li> </ul>		
4. 避難所トイレ対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時、避難所におけるトイレの現状と対応について</li> <li>2. マンホールトイレの整備について</li> </ul>		

質問順位	5	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新たな視点で観光施策を展開することで、観光産業の活性化はできないか	<p>1. 観光産業は、すそ野が広く多くの市民が従事するなど、萩市の主要産業の1つになっていることから、市ではこれまで様々な施策を実施し活性化を図ってきました。</p> <p>平成30年からは、萩ジオパークが日本ジオパークに認定されたことに伴い、ジオサイトなどを中心に美しく貴重な自然を活用した施策も実施されていますが、過去を振り返ると歴史観光に偏った施策が展開されていたのではないかと感じています。</p> <p>私は、萩市には歴史的な建物や町並みだけでなく、美しい自然など市外・県外に誇れる宝が数多くあると思っていますが、この多くの宝の全てを十分に活用できていないのではないかと考えています。</p> <p>また同時に、数多くある誇るべき宝を活用する知恵を出し合うことで、多額の予算をかけなくても交流人口を増やし、主要産業である観光産業を活性化できるのではないかと考えています。</p> <p>あわせて、対象者を絞った施策の展開をすることで、さらに観光客の増加が図れるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、これまで行ってきた観光施策についてどのように評価し今後、歴史関連以外の萩市の宝を活用した観光客の増加を図る施策の展開についてどのように考えるかお尋ねします。</p>		
2. 市政運営にも総括や検証は必要だ	<p>1. 藤道市長は、平成29年3月に行われた市長選において、多数の市民から選ばれ市長に就任されました。</p> <p>その後、選挙戦を通じて市民と約束した公約の実現に向け、日々努力されてきたと思います。</p> <p>私は、前市長に対し人口減少問題への対応策や子育て支援策などについて、他自治体の取り組み例や具体的な施策を提案しながら議論をしてきましたが、なかなか受け入れてもらえませんでした。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>しかし、今では私が過去に提案し認められなかった子どもの医療費助成の拡充も実現しましたし、教育民生委員会で提案した子どもの遊び場についても、旧明倫小学校の体育館を活用し来年1月に完成する予定になっているなど、この4年間で私の提案を含め議会側からの提案が実現しているなど、評価できる部分が多くあるのではないかと私は考えています。</p> <p>そこで、市長ご自身でこれまでの4年間を総括してどのような評価をしているかお尋ねします。</p>
<p>3. 引きこもるという行動をとる方やその家族への支援の現状は</p>	<p>1. 引きこもるという行動をとる方やその家族は、多くの課題や不安を抱えながら日々の生活を送っていることから、これまで一般質問等で何度も支援策を早急に講じるよう訴えてきました。</p> <p>市では引きこもりに関する専用の相談窓口を設置し支援の第一歩を踏み出すとともに、現在、引きこもるという行動をとっている方の実数調査を行われているところだと思います。</p> <p>私も、現状の把握は重要なことだと考えていますが、さらに重要なことは支援を実施するスピード感とその内容だと考えています。</p> <p>そこで、現時点で引きこもるという行動をとっている方の実数をどの程度把握しているかお尋ねするとともに、今後どのような体制や施策の展開が必要だと考えているか、あわせてお尋ねします。</p>

質問順位	6	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. この4年間を振り返って	<p>1. 過疎化により萩市に元気がない。若者がいない。これを取り戻さなければならない。そのために出馬したと言われ、「人口を増やします」発言も有りました。4年後の現状をどう見ておられますか。</p> <p>2. 「失政発言」や「政治は結果」発言がありましたが、その言葉と、現状をどう捉えておられますか。</p> <p>3. 明倫学舎は一丁目一番地＝私の公約ですと言われていています。その時の思いと、現状をどう見ておられますか。</p> <p>4. やはり萩市は、「歴史と文化の町」。これを核として観光を主体に経済の立て直しが必要と思われていますが、体育館を子どもの遊び場に整備された位置付けは「明倫小学校跡地利用基本方針」と矛盾しています。歴史と文化を大切にするとされています中、どうしてこのようなことが出来るのか疑問です。矛盾している事の説明をして下さい。</p>		
2. 田万川温泉について	<p>1. 長期休業しています。</p> <p>(1) 経緯の説明をして下さい。</p> <p>(2) 臨時休業と貼り紙がしてあります。後日来てはまだ、休業。はっきり期限を記入した貼り紙が出来ませんか。</p> <p>(3) 営業を期待する人も多いですが、人離れも生じています。世間一般にこんなに長く営業をしないことが有るのか疑問の声有り。益田の常連からは、田万川温泉は潰れたとの声が聞こえます。この噂が定着して、再開しても常連客が帰ってくるのか疑問となります。修繕して、つなぎ営業は出来ないですか。このような状態をどう思われていますか。</p> <p>(4) 休業においても、周辺の草刈り等の管理が必要です。セッションでもありましたが、以前から温泉周辺の問題となり、様々な声が聞こえます。市からの管理費はどうなっていますか。</p>		

質問順位	7	質問者	浅井朗太議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の今後の食育推進計画について	1. 「第2次萩市食育推進計画」の評価と次期計画を含めた食育に関する今後の取り組みについて 2. 1の今後の取り組みの中で、特に学校給食における食育の取り組みについて		
2. G I G Aスクール構想について	1. タブレット端末とW i - F i 整備完了後の通信費などの維持管理に係る費用について 2. 高速大容量通信W i - F i の具体的な運用について		
3. イージス・アショア配備計画撤回について	1. 萩市・議会・市民に対する、計画撤回についての防衛省からの説明会の予定について		

質問順位	8	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 管内の消防水利不便地区等の現況について	1. 管内の消火栓・防火水槽の基準への達成率について 2. 消防水利の基準に適合していない集落数について 3. 主要な消火栓・防火水槽のない集落数について		
2. 水稻の2020年産の作況指数について	1. 山口県内の水稻の2020年産の作況指数について 2. 萩市管内の台風による高潮等の塩風害について 3. 萩市管内のトビイロウンカの被害について		

質問順位	9	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 高校通学費支援について	<p>1. 萩市高等学校生徒通学費支援事業の目的は何か。</p> <p>2. 対象者の人数と年間の補助総額はどのくらいか。</p> <p>3. 市外にもかかわらず、大津緑洋高校水産キャンパスに通学している生徒の保護者が対象になっているのはなぜか。また、それは事業の目的に沿っているといえるか。</p> <p>4. 萩市内に居住しているが、市外の高校に通学している生徒は何人いるか。</p> <p>5. 高い志や目的をもって市外の高校に通学している子どもの意志をどう考えるのか。</p> <p>6. 萩市内に居住しているのに、支援が受けられる人と受けられない人がいるのは、市民を差別していることにならないか。</p> <p>7. 目的に沿わないため支援されない市外への通学生へは、別の支援策が必要ではないか。</p>		
2. いのちを守るために受療権保障を	<p>1. 国保の資格証明書と短期被保険者証の交付世帯数が減ってきているのはなぜか。</p> <p>2. 厚労省の2月28日の通達の内容を、資格証明書が交付されている被保険者に説明しているか。そして、手元に短期保険証が届くようにしているか。</p> <p>3. 資格証明書や短期保険証の発行で、保険料の滞納は改善されているか。</p> <p>4. 資格証明書や短期保険証の発行は、受療権を侵害し、社会保障の原則に反していないか。</p> <p>5. 資格証明書や短期保険証の発行をやめても、問題ないのではないか。</p>		
3. 「パートナーシップ宣誓制度」の導入を	<p>1. 昨年9月11日に、鹿児島市の自民系市議が本会議質問で「パートナーシップ条例はほとんどニーズがない」、「自然の摂理に合った男女の性の考え方を強調すべきだ」などと発言しているが、どう受けとめるか。</p> <p>2. 宇部市で性的少数者の「パートナーシップ宣誓制度」導入に向けた「宇部市パートナーシップの宣誓の取扱いに関</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>する要綱（案）」が、宇部市人権施策推進審議会で承認されたことが報道されたが、知っているか。また、どう受けとめたか。</p> <p>3. 萩市には、宇部市の人権施策推進審議会のような会はあるのか。あれば、性的少数者に関してどのような取り組みをしているのか。</p> <p>4. 萩市でも「パートナーシップ宣誓制度」の導入を目指してはどうか。</p>

質問順位	10	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 山陰自動車道の大井・萩区間における阿武川の二重橋について改めて問う	<p>1. この11月22日に萩市民館において山陰道シンポジウムが開催され、今後の山陰自動車道の整備促進に期待が膨らんでいる。先の3月定例会では、この山陰自動車道における阿武川の架橋を二重橋にし、交通の利便性を高めるとともに、地域の活性化を図ろうと提言したところである。しかし、市の答弁としては、二重橋の実現については消極的なものであった。改めて、市の考え方を訊く。</p>		
2. 福栄地域におけるデジタル防災行政無線の設置について問う	<p>1. 福栄地域をはじめ、旧郡部の各地域で防災行政無線のアナログからデジタルへの移行が進んでいる。一方で福栄地域では、この移行に伴い、屋外の防災行政無線が激減していると仄聞している。なぜ、このようなことが起こっているのか。市の説明を求めたい。</p>		
3. コロナ禍における医療従事者、介護従事者に対する支援について問う	<p>1. 現在のコロナ禍において、市内の医療従事者、介護従事者は雇用主から厳しい行動制限を強いられている。それは本人のみならず、家族も同様である。仮に同居する家族が市外、県外に行った場合、経過措置を設ける為に、一定期間のホテル住まいを余儀なくされると言った事例も仄聞している。</p> <p>これらの制限は、それぞれの事業体で行われていることから、市が立ち入る話ではないかもしれないが、あまりにも厳しい行動制限がこうした従事者の不平・不満につながっている。そして、それは今後の離職につながりかねない。</p> <p>予てから人手不足の医療業界、介護業界において、これ以上の離職は、市の医療体制、介護体制を揺るがすことになる。</p> <p>については、市の方でガイドライン等を策定し、周知する必要もあると思うが、この問題について、市はどのように考えているか。なんらかの支援が必要でないかと思うがどうか。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
4. 好評の「萩にゃん。観光クーポン」の来年度の事業継続は	<p>1. コロナ禍における経済対策として実施している「萩にゃん。お得にゃ観光クーポン」が観光客はもちろんのこと、市内の事業者間でも好評である。コロナ禍は第3波の襲来が予想され、ここ萩市でも感染者が発生している。依然として厳しい経済環境が続くことが予想される。ついては、この事業が好評である理由を市は現時点でどのように分析しているか。加えて、経済効果という意味では、換金率も気になるところである。直近の換金率はどうか。今後も事業の継続を求める強い声が上がっているが、市としてはどのように応えていくのか。市の方針をお聞かせ頂きたい。個人的には財源に限りもあることから、観光のオフシーズン対策として規模を縮小してでも継続すべきと考える。</p>

質問順位	11	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市長選挙にむけて	1. 来春執行される萩市長選挙にむけて (1) 市民暮らし満足度ナンバーワンの萩市基本ビジョン (人づくり構想・地域産業振興構想・萩まちじゅう博物館構想)の達成度について問う。		
2. 家族を介護する子ども達について	1. 家族を介護する子ども達の現状の把握と支援について (1) 介護する子ども達を、市が現在把握していればその人数や介護状況、また、市の対応について伺う。		
3. 行政手続における押印廃止と書面主義の見直しについて	1. 押印廃止ができる行政手続文書の現状把握と取り組みについて (1) 行政手続文書で押印廃止対象リストの洗い出しを積極的に進める事と、数字を明示できれば、行政手続文書の全体数と押印廃止のできる文書の数について伺う。		

質問順位	1 2	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市のコロナ対策について		1. 萩市で2例の感染者が確認されたが対応は万全か。 2. 希望する誰もが簡単に負担なく検査が受けられる体制を作る考えはあるか。	
2. 市民の足、公共交通手段の充実について		1. ぐるっとバスの見直しはどうすすんでいるか。 2. 須佐・田万川地域の生活バスの見直しはあるか。 3. 須佐・田万川地域から萩へのバス路線は確保できないか。	
3. 特別障害者手当制度の周知について		1. 特別障害者手当制度をどのように周知しているか。	
4. 総合事務所単位での予算枠の確保について		1. 地域の自治を保障する取り組みとして、総合事務所単位での予算枠の確保を行って、住民も交えた計画策定と実施を行う手法をとる考えはないか。	